

## 令和4年度 防災訓練(2022.6.26) 事後調査結果 概要

令和4年 10月 22日

南池袋二三四町会 防災部長 北村弥生

info@fumiyochi.net

ここでは、「令和4年度 南池袋二三四町会 防災訓練(2022.6.26)」の事後調査の回答53名(会員一戸建て17名、会員マンション17名、会員不明5名、会員以外7名、不明7名)の集計結果を報告します。アンケート用紙は73部用意しました。

### 【背景】

令和3年7月に、豊島区防災危機管理課から町会に災害時避難行動要支援者名簿が提供されました。町会地域内に住み、要介護度3以上または身体障害者障害者手帳または療育手帳を持つ70名の氏名、住所、性別、年齢、種別が表形式になっていました。同様の名簿は、豊島消防署、目白警察署、豊島区民社会協議会、民生・児童委員にも提供されているそうです。ただし、それぞれの組織が対象とする範囲は異なります。また、地域への情報共有を望まない人は、町会に提供された災害時避難行動要支援者名簿から除かれています(手さげ式とも言います)。町会防災部では、大規模災害(町会区域内では大地震)の時に逃げ遅れて命を失うことがないように、近所で助け合うきっかけに、この名簿を活用したいと考えています。

災害時避難行動要支援者名簿は、平成19年ごろから全国的に自治体での作成が義務付けられています。兵庫県の水害で亡くなった高齢者のうち、3分の1は、近所の人で、その人がお住まいだったことを知らなかったことが、名簿を地域に配布した理由の一つでした。町会や民生委員が名簿登載者の避難支援を行える地区も少数はありましたが、多くの地区では難しいことがわかってきました。

繰り返される水害被害を受けて、令和3年の災害対策基本法の改正では、「5年を目途に、優先度の高い名簿登載者について、個別避難計画を作成することは自治体の努力義務」となりました。高齢者についてはケアマネジャーが、障害者については相談支援専門員が、担当する利用者の個別避難計画を業務として(地方交付税により1件7,000円程度で)作成する別府モデルが推奨されています。しかし、近所づきあいが薄い都市部のモデルは、まだ、ありません。また、災害発生日時と規模が予測できない大規模地震に対する避難計画は、より困難です。

豊島区から提供された災害時避難行動要支援者名簿には、電話番号と家族構成がなく、平時の連絡と優先度の検討にも材料が不足していました。そこで、南池袋二三四町会では、令和4年10月から11月にかけて名簿登載者70名にアンケート調査を行い、電話番号、家族数、支援の必要性をうかがいました。その結果、50名71.4%の情報を得て、16名が「支援必要」と記入しました。

「支援が必要」のうち目立った課題に、「大規模地震で停電してエレベータが停止した場合に、移動困難者はどう移動するか?」という課題がありました。この課題は、名簿登載者でなくて

も、高齢者、乳幼児、一時的な傷病者に共通する課題です。そこで、町会の防災訓練として、この課題を取り上げることとし、「階段プロジェクト」と名付けて試行を開始しました。

#### 【防災訓練の対象者】

従来の町会防災訓練は町会員を対象に実施しました。町会の班長会でチラシを配布して回覧板で回覧する他、町会の掲示板にチラシを掲示しました。今回は、災害時に助け合うのは、町会員だけでなく、同じ避難所(救援センター:南池袋小)を使う近隣 11 町会の地区内の居住者、地区内の事業所職員であることから、町会員以外も対象とすることとしました。

南池袋小に通う児童約 600 名にも、学校を介して、特別に配布いただき、町会地域外からのご参加も得ました。11 町会長様宛にもご案内をお送りし、南池袋二三四町会だけでなく、東目白町会、池袋西睦町会の会長および防災関係者のご参加をいただきました。ほかに、町内会地区内の目立ったマンション管理組合様にもチラシをお届けし、管理人様にお越しいただいたマンションもありました。

#### 【事後調査結果】

##### 1. プログラムの評価

- 総合評価は 4.29(5 点満点)で好評をいただきました。高評価の順に、平均点は実演 4.38 点、解説 4.31 点、動画 4.10 点でした。
- 時間に関する満足度の平均は 3.26(5 点満点)で、長い 1 名、やや長い 10 名、休憩時間が欲しかったというご感想を伺いました。従来の消火器操作等の防災訓練では、1 時間程度で終わったためと推測します。

##### 2. 良かった点

- 「良かった点」は 32 名 47 件の記入があり、多い順に、「実演・動画がよかった」16 件、「企画・進行がよかった」9 件、「意識変革があった」7 件、「参加者が多い、若者がいた」5 件、「総合」2 件でした。

実演・動画(16)
消防の方の実演とても良かったです。
消防士の方の実演が見れて良かった。
実演が多くて良かった。
主催者側から一方的に話をするのではなく、動画や実演があったので、わかりやすく、飽きなかったのではないかと
実体験をまじえての説明は良く理解できました。
マンション階段を使った具体的な避難方法がわかった。
実演も参考になりました
さいがいがおきたときのけが人のはこび方がわかりました。わかりやすいです。

実際に消防の方の実演は学びが多く、
関西から引越して半年、初めての参加です。消防団の搬送方法の実演あらためて役に立ちました。
想定以上に人手が要ることが分かりました。
実演をふまえた情報提供
実際に階段を担架や車イスで運んだ率直な感想が聞けたこと。 慣れが必要だとわかったこと。 消防士の実演が見られたこと。
災害時の搬入方法についていろいろと説明・実演があり参考となりました。(動画も)
企画・進行(9)
司会の方がテキパキしていて聞きやすかったです。
司会の女性が非常に上手でした。
進行して下さった先生の説明が分りやすかったです。
実験的取り組みアプローチが評価できます。
防災訓練のプロジェクトを行ってそれを動画にまとめて、地域の方と共有することが本当に大切な機会であると思う。
主催者の努力に感謝。更に計測に力が必要。
地域の防災を考え、地域とのつながりをつくろうという視点ができるこの取り組みはすごいと思いました。ありがとうございました。
プロの技を見せていただいた。 できることと、できないことの実証実験をしたことが素晴らしい。
大災害が起きた際の課題をしっかりと整理されていて良かったと思います。 会長、副会長、防災部長方々たいへんおつかれ様でした。
意識変革(7)
自分でも普段から訓練してみる。ペランダにあるひなんハンゴを使ってみる事もよいことかも。1ヶ月に一度点検の時に見ている。
日頃から準備しておくことが必要であると感じた。
無意識を掘り起こされた
参加者に考えさせる様な講話でした。ありがとうございました。
知らないことばかりで今後も年に何回かこの様な体験して下されば身について来てくれればお互いに気持ちよく助け合うきかいがやしなえて良いと思う。
災害に関しては、本当に問題山積みですが動き出さなければ何も始まらず具体的に動き出して活動されてることが良く分かってとても良かったです。
意見交換にて、普段からの付き合いや助け合い、つながりが大事だと、みなさんがお話しをされていたことがとても良かった。自助はもちろん大事だが、みんなで助け合うこと(共

助)が大事。
参加者が多い・若い参加者(4)
若い方の参加が多かったので安心できる。
若い人の参加が多かったくさんの人が参加していたのでよいと思いました。
想像以上の参加がありましたが、防災部長の巻き込む力によるものと感じ入りました。
いろんな話聞けて大変良かった。若い人、力のある人が沢山いると良いと思う。
高層マンションが有る地域性が出ている訓練だなと感じました。空調が効いた会場は大変良く参加者の増加が可能。
グッズ紹介(3)
簡易な避難用具を知ることができた。
グッズの紹介していただいたので、早速、母の為に用意したいと思いました。
手軽に購入できるグッズなど、すぐに役立つ情報を教えて頂き、ありがとうございました。
その他(2)
初めての事ですがよかったです
すべてよかった

### 3. 改善すると良い点

「改善するとよい点」は 19 名 20 件の記入があり、多い順に「実技を伴う訓練・多様な訓練」8 件、「訓練日時と会場の設定」5 件、「平时に交流がなくて心配」4 件、「近隣での応用」3 件でした。「トイレの場所がわかりにくかった」というお声も、別に、うかがいました。

実技を伴う訓練、多様な訓練(8)
実際に参加者も訓練をしてみたかったです。
消防隊の人が教えてくださった方法をふまえた防災訓練の実施
担架を運ぶ体験ができる機会があるといい。
回数でしょうね、話し合いが大事
訓練参加者も一緒に参加できるテーマも取り上げては？(例)初期消火など・発生時の初期行動町会マニュアルなど
備蓄に関する知識なども教えて頂けると嬉しいです。(入浴などの生活水についてなど)
火事のこと合わせて説明する。
消火器の使い方、災害時のトイレ etc 今後の課題にして扱って欲しい。
訓練日時と会場の設定(5)
季節柄、集まった人の年齢などを考慮して進行中に飲み水の呼びかけをすればよかった
涼しい時がよい
少し長いかなと思いました。

受付の記入台帳の文字が小さく、細かったので、眼鏡なしには読み取れなかった。フォントタイプ、サイズを、大きく、読みやすい物にしたい。デスクに誘導する貼り紙も同様。うろろしてしまう人が多かった。
高齢の方(90歳以上)にとっては、長いと思いました。着席位置を入り口側に確保し、案内するとよかったのかもしれませんが(途中退場しやすいように)。
交流がなくて心配(4)
当マンションでは防災訓練がないので心配である。 近日は高齢者の方が多くなっているので心配。 当マンションの交流がないので心配。
1人の救助に対して4~6人の人手が必要。 同マンションや近所付き合いがないと頼めない。 地域共生型カフェを運営しているので地域交流の場として活用してほしい。
この会多く回数でなれてくると思う。近所の方々に声かけあうこと。
マンションに住んでいると、隣の方もわからないので不安です。
近隣での応用(3)
私の班では備蓄品と避難場所など近所の町会役員に聞いて回覧板を回しました(個人的)
各地域のアイデア収集も大切ですね。 地域の拠点となるべく、福祉施設でも防災ワークショップとかを実施できるといいかなと思います。

#### 4. これから取り組みたいこと・すでに取り組んでいること

これから取り組みたいことについての8選択肢では、多く選ばれた順に、「家族と情報共有」26名、「備蓄を確認」26名、「近所づきあいを増やす」21名でした。「階段を下ろす練習をする」6名、「階段を下ろす道具を購入する」4名に留まりました。

	すでに行っている	これからしようと思う
家族と情報共有	4	26
備蓄を確認	11	26
近所づきあいを増やす	4	21
組織で情報共有	2	13
友人と情報共有	2	13
近所と情報共有	0	10
階段を下ろす練習	0	6
階段を下ろす道具を購入	0	4

これから取り組みたいことの「その他」には 12 件が記載されました。  
支援する側の意見 4 件、支援される側の意見 4 件、課題 4 件でした。

支援するために(4)
人を助けるためには、自助を充分にして、身らが無事である必要がある。
介護ヘルパーをしていたので何かの時はお手伝いしたいと思っています。
危機管理に積極的に取り組みたいと思い救命技能及び危機管理アシスタント 2 級を取得しました。今後も町会等に協力していきたいと思います。
現在自分の属する町会で防災グッズを増やしているが、今後何が必要か参考になった。
支援を受けるために(4)
他人に頼るのではなく、道具などを購入しておいて、いざとなったら、使い方を説明できるようにしておきたいと思った
福祉事業所での防災ワークショップを検討したいと思いました。
階段を使うのは無理。火を出さない様にして助けを待つのが一番。前回の地震でエレベータがとまり、3 日待ちました。
近所づきあいを増やす。マンションの知り合いを作りたいけど、なかなか会う機会もなくむずかしいです(1 人暮らしのため)
課題(4)
介助をお願いする人を見つけるのがむずかしい。
マンション住まいです。マンションのエレベータその他特異性があると思われる。地震・災害・火災等、検討をお示しいただきたい。 → (町会からのコメント)マンションに特有の課題は、マンション管理組合でご相談ください。ブリリアタワー池袋では、平成 30 年ごろに、地震と火事の場合のマニュアルを作成し、全戸配布しました。お手元がない人は、マンションの web site の管理組合の項目からダウンロードできます。A4 用紙 1 枚両面で、その後に変更もありますので、管理組合で更新や対策を相談することも必要と考えます。
何処に逃げれば良いのか？ → (町会からのコメント) 火事や住宅の倒壊がないようにして、自宅で生活を続けられるのがベストです。南池袋小は救援センター(避難所)ですが、敷物と毛布が提供される予定ですが、収容可能数は十分ではありません。体育館の床に寝ます。停電して、余震もあると、一人では心細い場合に、知り合い同士で集まる準備をしておくことも有効です。
高層の為、災害があると心配です。 → (町会からのコメント) 2 週間程度の備蓄をして、火事を出さないことは重要です。ほかに具体的に困ることを考えて、近隣同士やマンション管理組合とも相談されることも必要と考えます。

## 5. 町会に期待すること

町会に期待することは 20 件が記入されました。

支援ネットワークづくり(9)
・近所の方によくしていただいています。 ・一戸建てなのですが、3 階に寝室があります。
様々な暮らし方の住民がいる中で、ゆるやかなつながりづくりを日頃から少しずつ構築されていることが大切と思いますが、二三四町会はその実践をされていると思います。
町会の方が福祉施設にどう期待しているのか、どういう役割をしていく必要があるのかを一緒に検討できればと思っています。
福祉施設がどう関わっていける可能性があるか一緒に考えていただけると嬉しいです。
町会同士の連絡体制づくり。学校を通じた防災教育。社協や民生委員との連絡窓口。
助け合いに期待します。本日はありがとうございました。
区などの関係機関と町会さんの連携が今後もっともっとすすむといいと思います。
家族、近隣、町会が常日頃コミュニケーションを取り合って緊急の際対応出来る様にしておく事が重要だと思います。その目的を果たす行動を町会が行って欲しい。
それぞれでがんばるしかない！
情報中継(8)
避難所がいつ開設されたかの早期連絡
弱者の避難補助。備蓄品の活用、情報の交換、共有
どこに連絡したらよいのか知らせてほしい
情報の共有や避難場所への誘導などを手伝ってほしい(物資)
迅速な情報提供
情報をくわしく、早く知らせてほしい！
情報連携して下さると嬉しいです。
情報の提供
要配慮者支援(2)
障害を持っている人にはいざといった時にはこの様に人助けがしていただけるか。我身の方が大切となり実際考えさせられます。 → (町会からのコメント) 障害のある人、高齢者の助け方は、人によって違うので、事前に連取しておかないと、災害時に急にするのは難しいと考えます。「助けてほしい」と声を上げていただき、近隣や町会、関連組織と一緒に考えていきたいと思っています。
・ひとり暮らしなので心配です。 → (町会からのコメント) 停電で余震がある中、一人で自宅に留まるのは心細く、また、相当不便だと思います。かといって避難所も快適ではありません。近隣同士で集まる場所

を事前に考える等の準備を進めることをお勧めします。町会も、お手伝いしたいと思いません。
課題(2)
2～3日分の食品は準備してありますが、排泄物の処理心配。 →(町会からのコメント)マンションではエレベータが停止した場合に備えて2週間程度の備蓄が安心です。高齢者・障害者などで、大規模地震後の買い出しに苦労が予想される人も備蓄は多くしておく方が安心です。薬などの備蓄も忘れずに。便器で使う携帯トイレを備蓄し、蓋つきの容器で回収が始まるまで各自で保管することが望まれます。
どこに逃げたらいいか教えて下さい。校庭などは火勢が強くなるといわれていますが如何ですか →(町会からのコメント) 火事や住宅の倒壊がないようにして、自宅で生活を続けられるのがベストです。近隣に火事があった場合は、協力して初期消火に努め、鎮火が難しい場合は雑司ヶ谷墓地、南池袋公園、イケサンパークなどが避難場所として指定されています。火事の場所と勢いによっては、小学校は適さない可能性はあります。関東大震災の時よりも、地震を感じてガスやストーブが停止する仕組みが発達しているので、火事の発生は減ると見込まれています。一方、高層マンション内での火災など、過去の大地震で経験がないために予測が立ちにくい場合もあります。

## 6. 結果に対して

- 良かった点について、「技術伝達」だけでなく、「意識変革」が多く回答されたのは、期待以上の成果と考えました。
- 改善点すべき点については、「実技の希望」が多く、「高齢者への配慮」が求められました。
- 回答者がこれからしようと思うことには、「近所づきあい」が多く挙げられました。
- 町会への期待では、「災害時に活用できる平時からの町会内および外部組織とのネットワークの構築」と「災害時の情報中継」が多く回答されました。情報中継のうち、災害時の行動判断を期待する希望については、町会の責任は検討課題と考えます。

- ★ 障害者・高齢者の対策は、少人数で相談を続けていきたいと考えています。関心のある人はお知らせください。
- ★ 消火については、令和5年5月に町会の防災訓練として実施予定です。
- ★ 大規模地震に際して、ご協力いただける人、心配な人は、ご連絡ください。  
([info@fumiyochi.jp](mailto:info@fumiyochi.jp))

以上